

# 宇管工が資機材寄贈

## 宇工生の技能検定受験を応援

〈12/15 日経〉

宇都宮市管工事業協同組合（和田均理事長）は13日、県立宇都宮工業高校に建築配管技能検定などの実習用資機材約63万円相当を寄贈した。和田理事長、川中子武保専務理事らが訪れ、2級を受験する3年生5人が見守る中で菅野光広校長に資材を手渡した。寄贈は今年で10回目となる。

和田理事長は「挫折することもあるかもしれない

が、頑張れば必ず芽が出る。2級が受かることを期待している」とエールを送り、3年生は合格できるよう資機材を使ってたくさん練習すると目を輝かせた。菅野校長は毎年の物資支援に感謝の言葉を述べ、「生徒たちは寄贈された貴重な資材を使い、高みを目指して学習に励んでいる」と語った。

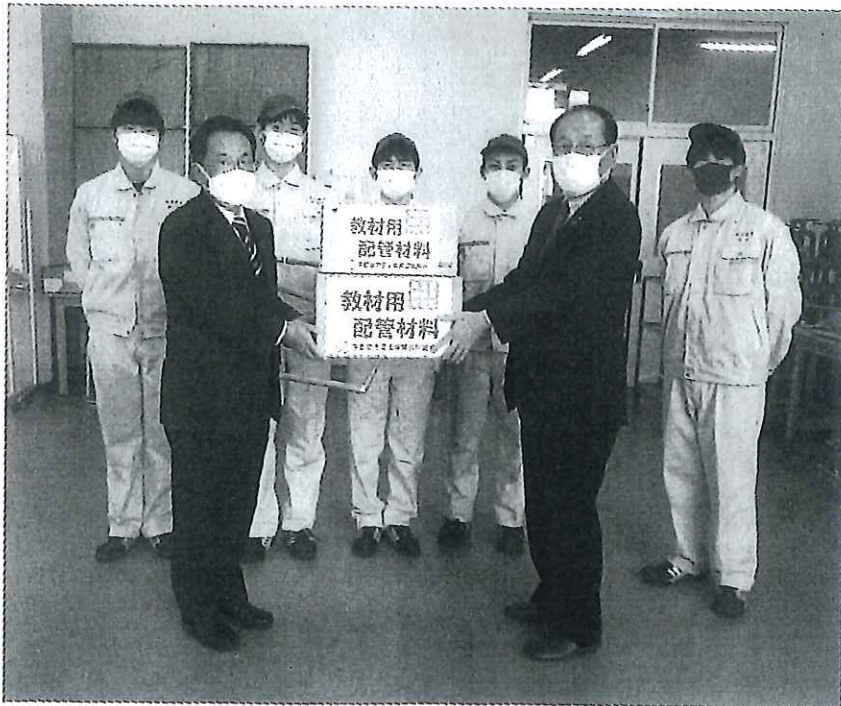
宇管工では、高校生の技

能向上を図るため管材や管継手など実習用資機材一式を寄付。資材は2、3級技能試験を受験する生徒や技能五輪に挑戦する生徒の実習で利用。今年は2級を3年生8人、3級を2年生9人が受験する。

寄贈にあたり和田理事長は「生徒たちが将来を見据えて今の段階から資格を取得することは大変重要なこと。原油等の高騰で資機材

も値上げの傾向にあるが、引き続き利益の一部を学校や生徒に還元していきたく

い。管工事業界への就職度を上げてもらえれば幸いと述べた。



資機材寄贈で宇工生にエールを送った